

直島における周辺環境モニタリング（土壌調査）結果について

直島における周辺環境モニタリング（土壌調査）は、中間処理施設の建設前、運転期間に実施し、周辺環境への影響を把握することを目的としている。今回、中間処理施設の運転開始後である平成22年8月に実施した土壌調査結果の調査結果をとりまとめた。

1. 調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事との関連
報告済	中間処理施設の建設前 （事前環境モニタリング）	平成12年8月31日（木）	中間処理施設の建設開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
		平成12年11月28日（火）	
	運転期間	平成16年2月24日（火）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
		平成17年2月1日（火）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
平成19年8月9日（木）		中間処理施設の運転開始後に実施した。	
報告済		平成22年8月4日（水）	中間処理施設の運転開始後に実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査地点（調査地点図参照）

最大着地点（風戸山山頂）、直島町役場

(2) 検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

3. 調査結果の概要（表1）

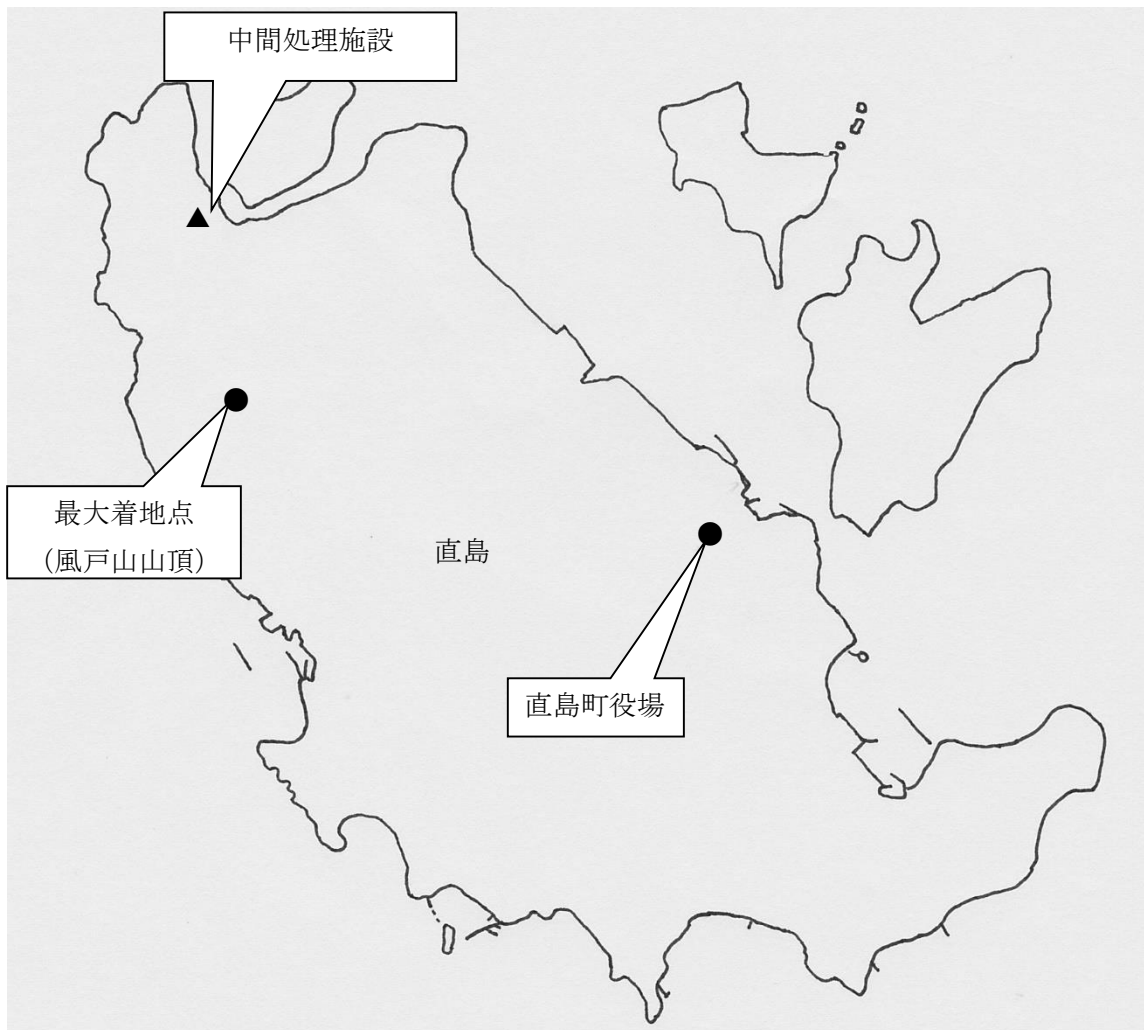
事前環境モニタリングの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- ・カドミウム、鉛、水銀及びヒ素は土壌環境基準を満足していた。

表1 土壌調査結果

(ダイオキシン類単位:pg-TEQ/g、その他の単位:mg/l)

調査項目	最大着地点						直島町役場						環境基準
	事前環境モニタリング		運転期間				事前モニタリング		運転期間				
	H12.8.31	H12.11.28	H16.2.24	H17.2.1	H19.8.9	H22.8.4	H12.8.31	H12.11.28	H16.2.24	H17.2.1	H19.8.9	H22.8.4	
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/l以下
ひ素及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
ニッケル及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
クロム及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
ダイオキシン類	4.3	2.7	4.5	2.7	6.6	0.15	4.1	4.9	6.3	3.1	7.5	0.91	1000pg-TEQ/g



調査地点図 (●：調査地点)